

別紙様式 1

令和 4 年度広中央中学校区研究推進計画

校番 (4) (呉市立広小) 学校

校長名 枝長 真智子

1 学校教育目標

学びいっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱいの児童生徒の育成

2 目指す児童生徒像

「学びいっぱい」・・・すすんで学び、思いや考えを表現できる児童生徒
「笑顔いっぱい」・・・思いやりがあり、助け合いながら活動できる児童生徒
「元気いっぱい」・・・たくましい体と心で最後までやりきることができる児童生徒

3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

資質・ 設定・ し 能力	知識及び 技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等	
	【知識・ 技能】	【 思考力・ 判断力・表現力 】	【主体性】	【自尊心・ 協調する力】
後期	学んだ知識や技能を既習内容と関連付けて活用し、それらの有機的結合により「知の構造化」を図ることができる。	様々な資料や情報を取捨選択し、各教科等の既習事項と照らし合わせながら、根拠をもとに自分の考えを持ち、課題解決することができる。また、その成果を適切かつ効果的に発信することができる。	学ぶことに興味や関心を持ち、自己の学習活動を点検しながら、既習事項を活用するなどして、学び直しをしたり、試行錯誤を繰り返したりして、粘り強く自己を高めようとしている。学びを自己の進路実現と関連付け、見通しを持って取り組もうとしている。また、異文化へ理解を深めるとともに、郷土へのさらなる愛着を持つことができる。	学びを支える「たくましく豊かな心」を涵養するため、自己への理解を深めることで、かけがえのない自分を見出そうとし、他者とのかかわりを通して自分の視野を広げたり、考えを深めたりして学び続け、新たな価値を創造しようとしている。
中期	新しい知識や技能を習得して活用するなかで、それらのつながりを意識して学ぶことができる。	各教科等の既習事項や資料等を活用し、物事を多面的に分析・考察して課題解決し、その成果を提示することができる。	学ぶことに興味や関心を持ち、各教科等や教育活動で習得した知識や技能が、どれだけ身に付いているかを自覚しながら、学び直したり、試行錯誤を繰り返したりして、粘り強く取り組もうとしている。また、様々な教育活動を通して郷土に愛着を持ったり、異文化を理解しようとしていたりしている。	学びを支える「たくましく豊かな心」を涵養するため、自分の個性が役立っていることを実感し、友達と助け合ったり、話し合ったりすることを通して、自分の視野を広げたり、考えを深めたりして学び続けようとしている。
前期	新しい知識や技能を習得し、それらを緩やかなつながりとして捉えることができる。	各教科等の既習事項や日常の事象と関連付けて物事を分析・考察し、課題解決したことを発表することができる。	授業や各教育活動の「めあて」に向かって自分なりに様々な工夫を行おうとしている。また、他の児童との対話を通して自らの考えを修正したり、立場を明確にして話したりしている。	友達と助け合ったり、話し合ったりすることで、自分が周囲に受け入れられていることや、役立っていることを実感し、自分の考えを深めたりもっと新しいことを学ぼうとしていたりしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成
—課題発見・解決学習と体験活動の推進を通して—

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区には、広小学校と三坂地小学校の2つの小学校と、広中央中学校がある。黒瀬川の下流に位置し、校区には自然豊かな地域と賑やかな商店街を持つ地域が存在する。校区の児童生徒は、明るく人なつっこい。歴史のある地区も多く、祭りなどの地域の行事も多い。児童生徒にとって一番身近である地域の特性を知り歴史を学ぶという体験をすることは、主体的に学ぶ意欲につながり、学力の向上や自尊感情の向上が図れるのではないかと考える。そのため本中学校区では「学力向上部会」「グローバルマインド育成部会」「心の元気部会」の3部会を設定し、仮説の検証に取り組んでいる。

本中学校区では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」「自尊心・協調する力」の4つを、育成を目指す資質・能力と設定し、具体の姿を示した。

各部会との関わりは次のように設定している。「学力向上部会」のねらいは、「各教科等の授業を通して、各教科等における見方・考え方を働かせ、確かな学力を身に付けさせる。主体的・対話的で深い学びを創造する。」とする。「グローバルマインド育成部会」のねらいは、「郷土を愛する心を育てるとともに、異なる価値観や文化を理解し、進んでコミュニケーションを図ることができる児童生徒を育成する。」とする。「心の元気部会」のねらいは、体力の向上や学習規律の徹底の面から「自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする児童生徒を育成する。」とする。

広島県教育委員会は主体的な学びを促進するため、総合的な学習の時間をはじめ、各教科等の学習において「課題発見・解決学習」を推進している。また、グローバルマインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向けて小学校からの系統的な「異文化間協働活動」を推進しており、本中学校区の取組は、県の取組にも沿うものとなっている。

本中学校区は「心の元気部会」の土台の上に「学力向上部会」と「グローバルマインド育成部会」を位置付け、自尊感情の向上が学力の向上にも繋がるという考えの下、9年間を見通した教育として取組を行っている。

以上のことから、本研究テーマを設定した。

(3) 研究仮説

各種調査等の分析に基づいて指導上の課題を明らかにし、小中が一貫して課題発見・解決学習と体験活動を推進していけば、児童生徒が主体的に学ぶ楽しさを実感し、自尊感情の向上を図り、生きる力を育むことができるであろう。

5 研究内容

◇ 学力向上部会

① 主体的・対話的で深い学びの創造

- 単元を貫く課題の設定
- 課題発見・解決学習に向かわせる広中央中学校区授業スタイル
- 教科等のねらいに迫る発問の工夫
- ICTの効果的活用

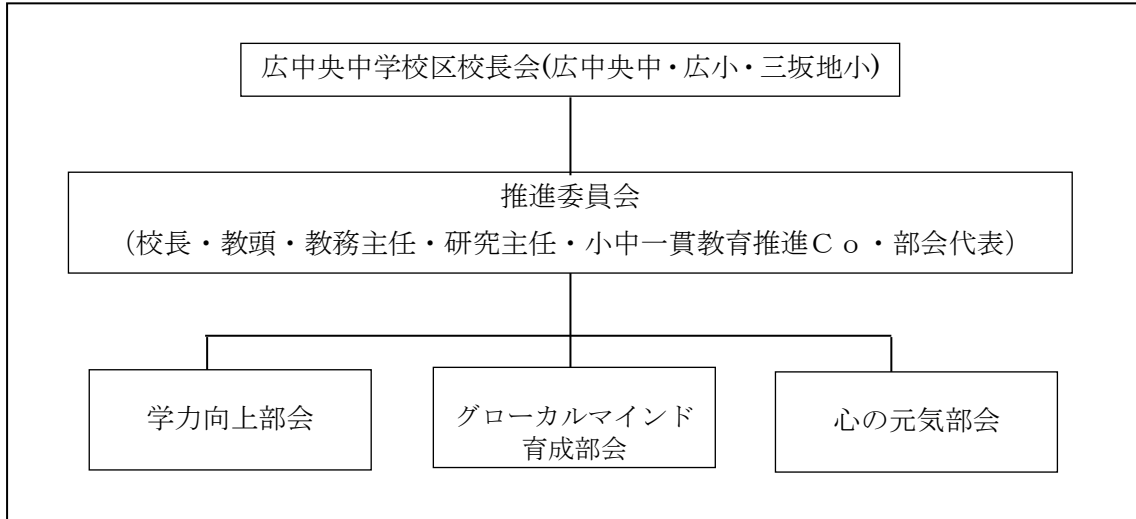
- ② 小・中の学びをつなぐ取組
 - 中学校教員による小学校への乗り入れ授業（小学校5・6年生 体育科）
 - 中学校の学力補充への小学校教員の参加
 - 全国学力・学習状況調査の分析による具体的方策の立案
- ◇ グローカルマインド育成部会
 - ① 郷土を愛する心の育成
 - 総合的な学習の時間における郷土（人、自然、歴史等）を柱とした系統的な学習
 - ② 異なる文化や価値観を理解し、進んでコミュニケーションを図る
 - 総合的な学習の時間等を関連付けた異文化理解学習
 - ③ 行事等の体験活動を通じた資質・能力の育成
 - 行事等で育成を目指す資質・能力の具体的な姿の設定、評価と振り返り
- ◇ 心の元気部会
 - ① 生徒指導を軸にした小中連携
 - 9年間を見通した学習規律マニュアルの作成
 - 小・小間、小・中間で生徒指導の指導事項を連携
 - 中学校生徒指導担当者による小学校高学年への乗り入れ指導
 - ② 体力の向上に向けた取組
 - くれ・チャレンジマッチ・スタジアムの実施
 - 中学校野球部による小学校4年生への投球指導
 - ③ 小中合同行事等による取組
 - 栄養教諭による食育指導
 - 小中合同あいさつ運動
 - 小中合同クリーン活動
 - 中学校吹奏楽部による小学校の運動会開会式での演奏

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 発問の工夫、ICTの活用により、考える授業を創造することができたか。	授業評価シート	研究授業における教職員の相互評価の平均（4段階評価）	—	3.2以上
	教師アンケート	教職員の肯定的評価の平均（4段階評価）	—	
② 資質・能力を育成することができたか。	児童生徒アンケート	児童生徒の肯定的評価	—	3.2以上
③ 児童生徒の学力が向上したか	全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）	全国平均との差	全国平均との差 小学校 (国) + 4.3 (算) - 1.7 中学校 (国) - 1.6 (数) - 0.2	全国平均との差 小学校(国) + 5 (算) + 1 中学校(国) + 1 (数) + 1

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等 (中→小, 小→中)

(中→小)

- ・小学校第5学年 体育科 (週1回実施)
- ・小学校第6学年 体育科 (週1回実施)

(小→中)

- ・中学校第2学年 保健体育科 (年1回実施)
- ・中学校第3学年 保健体育科 (年1回実施)

イ 小学校教科担任制等

8 推進計画

月 日	内容		
	広中央中	広小	三坂地小
4月	○「全国学力・学習状況調査」の実施		
5月	○小中合同研修会 (研究組織・今年度の取組等の確認, 部会, 分科会)		
		○ICT研修	○ICT研修
6月	○第1回研究授業 (中学校区)		
	○「広島県児童生徒学習意識等調査」の実施		
		○高学年部研究授業 ○学ぶ喜びサポート校事業 研修 (理論研修)	○中学年部研究授業 学習指導案検討会 ○中学年部研究授業
7月	○1学期 小中一貫アンケートの実施及び分析		
8月	○小中合同研修会		
		○学ぶ喜びサポート校事業 研修 (実践交流・課題に 関する協議)	○ICT研修
9月	○「広島県児童生徒学習意識等調査」, 「全国学力・学習状況調査」の結果分析		

		○学ぶ喜びサポート校事業 研修（第1学年研究授業）	○低学年部研究授業 学習指導案検討会 ○低学年部研究授業
10月	○第2回研究授業（中学校区）		
		○中学年部研究授業 学習指導案検討会 ○中学年部研究授業	○高学年部研究授業 学習指導案検討会 ○高学年部研究授業
11月	○第3回研究授業（中学校区）		
		○学ぶ喜びサポート校事業 研修（第2学年研究授業）	
12月	○広地区クリーン活動 ○2学期 小中一貫アンケートの実施及び分析		
1月	○カリキュラムの改善		
2月	○小中合同研修会（まとめ）		
3月	○小中合同運営委員会（次年度の計画）		

9 その他

※ 研究構想図，カリキュラムマップを添付する。